



## 令和4年12月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和4年12月分について、輸出額は「自動車」、「石油製品」、「科学光学機器」などが減少したことから、対前年同月比24.1%の減少となった。また、輸入額は「原油及び粗油」、「石炭」、「非鉄金属鉱」などが増加したことから、同19.2%の増加となつた。

その結果、差引額は1,465億円（同69.6%の増加）の輸入超過となつた。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	763億円	▲24.1%	2,228億円	+19.2%	▲1,465億円	+69.6%
	2カ月連続の減少		21カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 映像機器	11億円	856倍	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	1,328億円	+28.0%	
		(2) 電気回路等の機器	80億円	+14.2%			(2) 石炭	116億円	+386.6%	
		(3) 自動車の部分品	95億円	+10.1%			(3) 非鉄金属鉱	23億円	114倍	
	減少品目	(1) 自動車	86億円	▲55.0%		減少品目	(1) 液化天然ガス	385億円	▲11.6%	
		(2) 石油製品	3億円	▲93.5%			(2) 石油製品	69億円	▲34.1%	
		(3) 科学光学機器	11億円	▲77.8%			(3) 有機化合物	19億円	▲33.3%	
地域別動向		アジア、西欧が減少、北米は増加				地域別動向	中東、大洋州が増加、中東欧・ロシア等は減少			

（参考）ドルレートは、137.90円（前年同月比21.0%、23.95円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。